

5農場が更新審査に挑む



基準を満たしているかを確認

ASIAGAPの更新審査が1月14日から3日間、JA西部営農振興センターで行われました。

3年目となる今回は、永畠幸一さん（一関）、佐藤正弘さん（一関）、阿部晋さん（一関）、千葉大さん（藤沢）、小野寺俊行さん（一関）の農場が審査対象となりました。更新審査は、登録農場・団体が継続して認証の基準を満たす運営ができているかを評価するもので、14日は事務局が、15、16日は農場審査が行われました。

今回、ASIAGAP対象乾燥施設として審査を受けた小野寺さんは「昨年の7月からGAPに取り組み始めた。準備期間が少なく不安があったが、無事審査が終わって良かった。今後は、GAPを活用してコスト削減や環境保全に取り組んでいきたい」と気持ちを新たにしました。